

諸家系譜

大宅間 大道寺 伊達
大膳亮 橋 館野

庫	文	閣	内
三五函	三三九	二二五	和書類
架	冊	號	類

庫文官政太	
三五	和書
三五	架冊

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (149)
函號	156 23

共二百廿五冊
共八十五



大
乙一
後

先祖書

多
子
子
其
思

多
子
百
孫
九
書
〇
坊
田
之
書

符
同
之
書

夏東氏

完間

大祇冠滿員二十二代後胤上段修光
主意中苗上段上段完間上段修光
十六代上段國任人完間上段修光
次男上段修光

家之段 竹丸雀

替之段 小七桐

幕之段 竹丸雀

定旨書庫以屋國修男
規高 治政六捕

母 少知

妻 少妻氏修光長江修光
全山丹修光上段修光

女孫二已未年上段修光

少妻氏上段修光
上段修光書修唯力以所修修

書修之子

上段修光上段修光
少妻氏上段修光
上段修光
上段修光

十月十日 会堂
定より及

三石

神君に於て百石を奉りて、その高石を建

造りて、其の功徳を祈るべし。

百石奉りて

二百石

以上

百石を奉りて

以上

三石を奉りて、百石を奉りて、その功徳を祈るべし。

武江の功徳を祈るべし。夜川村の御守を奉り、
法衣及び相院、順巻、淨廊、右の御守を
御守に奉りて。

御守に奉り

以上

忠次

母

武江の功徳を

祈るべし。母の功徳を

祈るべし。母の功徳を

神君に於て

百石を奉りて、百石を奉りて、その功徳を祈るべし。

祈るべし。母の功徳を

書

春日山傳之卷之廿

天正九年辛巳年春抄

口平九 辛卯年之...

抄本 清國自江...

其長文...

清國...

口平...

口平...

口平...

口平...

抄本...

口平...

口平...

口平...

口平...

口平...

口平...

口平...

口平...

口平...

少子乃浮城忠徳江侍平公為言程人
江侍乃浮城忠徳

口九受三平七

左殿公將軍 宣下乃浮城

右進公乃進 江侍乃浮城

寛永二乙丑年

右進公 江侍乃浮城

石原乃浮城

或為乃浮城

江侍乃浮城

江侍乃浮城

江侍乃浮城

江侍乃浮城

江侍乃浮城

寛永二

江侍乃浮城

江侍乃浮城

江侍乃浮城

全三石在衣 兼修及通分
 石部多新行 亦御中
 江部多 以有 古也 地修
 五三十一日 立修
 長谷川 七石
 長谷川 七石
 長谷川 七石
 長谷川 七石

日二酉寅年 七
 清之修 清之修 清之修
 修修修 修修修

日中寅酉年 二
 清之修 清之修 清之修
 修修修 修修修
 日三甲戌年 二
 清之修 清之修 清之修
 修修修 修修修
 日四乙亥年 二
 清之修 清之修 清之修
 修修修 修修修

初之節記之六或列於後經之佛之葬
法有源修院一部通の

細項

二帝

早世

母

口名

事

事

母

口名

若知之乃自印の古、高身存也、此は
少の頃念淨多院す、乃の、乃の
淨多院淨多院

女子

母

口名

少の頃念淨多院す、乃の、乃の

女子

母

口名

事

事

早世

早の頃念淨多院す、乃の、乃の

憲後

一

母

口名

早の頃念淨多院す、乃の、乃の

此乃佳稿

庚子年六月廿五日
信者昔先院法会法月或於此
三佛之真

如子

母

致智法寺古碑書

口布

憲之

初寫

三子年 信乃

母

口布

書

昔先院法會法月或於此

三子年 信乃
三子年 信乃

庚子年六月廿五日

信者昔先院法會法月或於此

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

三子年 信乃

其の事は、
口之、
少く、
口之、
高、
又、
其、
中、
其、

其、
口之、
口之、
口之、
口之、
口之、
口之、

其

其

其

其

其

其

其

其、
其、
其、

乃獻云々 沖國見之

萬安元西子年 丁卯 新親少人 經書

右字名 大八 良憲 宣 宣 宣 宣

東

母 年 月

憲 名

年 月

松平 宣 宣 宣 宣

母

為 東 宣 宣 宣 宣

宣 書

養 息 三 甲 年 年 丁 卯 丁 卯 丁 卯 丁 卯

慶 有 云 々 沖 國 見 之

宣 又 三 丁 卯 年 丁 卯 丁 卯 丁 卯 丁 卯
乃 右 傳 心 宣 宣 宣

女 子

母

年 月

宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣

女 子

母

年 月

宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣

憲 名

母

年 月

宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣 宣

慶 有 云 々 沖 國 見 之

寛文七年壬午年 三月廿七日 如後
正徳四年後書 三月廿七日 後編
三月廿七日 如後
也 正徳二年壬午年 三月廿七日 初編
正徳四年後書 三月廿七日 後編
正徳四年後書 三月廿七日 後編

惠良

七年三月廿七日 如後

冊
書
町
川

正徳四年後書 三月廿七日

正徳四年後書 三月廿七日

卷有云 正徳四年後書

正徳四年後書 三月廿七日

正徳四年後書 三月廿七日

如後

正徳四年後書 三月廿七日

正徳四年後書 三月廿七日

正徳四年後書 三月廿七日

正徳四年後書 三月廿七日

幸ひの事知 憲良の事
幼少に乙酉年 力一を以て病死す
潤筆を以て 芳 於 院 冊 之 伴 冊

女子

美成の事 憲良の女 幼少に病死す

行

百行

憲元

美文

美母

美書

主成 美成の事

美成の事

美成の事

自今に 丁卯年 乙酉年

之 承 十六 美 承 年 乙酉 年 乙酉 年

幼少に 乙酉年 乙酉年 乙酉年

幼少に 乙酉年 乙酉年 乙酉年

幼少に 乙酉年 乙酉年 乙酉年

幼少に 乙酉年 乙酉年 乙酉年

幼少に 乙酉年 乙酉年 乙酉年

良友

良友 良友

良友

乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年

書母

書

中世後

少蒙於世多信女

早合御律令死仍女

之派丁之庚辰年 江戸生

西法元 辛卯年 江戸之町 宣文 啓事

二葉上書之 沖目見之 宣文 啓事

始

文照云 沖目見始

宣文 啓事 西申年 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

宣文 啓事 江戸之町 宣文 啓事

の長久の事

寛文二年 庚午年 三月 廿五日 松平将軍
御書 御座候 御座候 御座候 御座候
十八日 御座候 御座候

宝曆十一年 己未年 十一月 廿五日 法後寺
御書 御座候 御座候 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

有泰云 此の御書 松平将軍 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

御座候 御座候 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

御座候 御座候 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

御座候 御座候 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

御座候 御座候 御座候 御座候
御座候 御座候 御座候 御座候

某 氏 氏 早世

母 早合梅津与行女

寛政 丙午年

母 氏

紀 奉 減之第 氏 氏

母 氏

壽

世系傳

中平年 戸新殿 氏 氏

美濃公親 氏 氏

正平年 氏 氏

寛政十一丙午年 氏 氏

信濃院 氏

御用見江高曆十一壬午年九月

廿八日 氏 氏

著入 氏 氏

今向 氏 氏

少子 氏 氏

安永二年 氏 氏

城戸後以用之... 日年十月... 切... 所... 信... 日... 表

清有彦孫見光

法社...

此... 上... 瑞...

上... 瑞...

天... 自... 宣... 日... 石...

英倫

母 英倫

七三信

於この書後、
あまききく、
所記、
以、
以、
以、

女子

母 早世

母 早世

某

母 早世

母 早世

女子

母 早世

母 早世

女子

母 早世

女子、
女子、
女子、

憲照

母 早世

母 早世

女子、
女子、
女子、

憲照

母 早世

母 新女

書

海老原氏

清書

去之原の物大徳寺

池田氏

富丁六乙三年 改め

明和八年甲午年

新女

書

海老原梅村

日六丁酉年... 切末之書信...

日八己亥年

春後... 日...

新女...

日...

日...

日...

日...

清江野矢の事... 清江野矢の事... 清江野矢の事...

寛政之三年... 寛政之三年... 寛政之三年...

河内... 河内... 河内...

寛政... 寛政... 寛政...

若君... 若君... 若君...

白土... 白土... 白土... 白土... 白土...

女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子...

憲政... 憲政... 憲政...

換得

冊 一

右邊法行

高平

高平

高平

高平

高平

高平

寛政十一年

定

分帳

高平

定

養老

完間

養級

竹丸雀

家級

竹丸雀

整級

竹丸雀

養或憲之男

憲法

或美

如

養或憲之男

養或憲之男

或憲之男

或憲之男

養或憲之男

或憲之男

以丁巳年十一月五日父憲之男

元和二年十一月五日父憲之男

日之養或憲之男十一月五日父憲之男

養或憲之男十一月五日父憲之男

養或

養或

養或

養或

養或

養或

養或

世道八 慶安年月久家或久文憲法年
古女子の行状

天和之愛多事十二丁守古文憲法年
より

元禄三己巳年より古文憲法年
より

古文憲法年極難徳云

女子

女子

古女子古事古洋書
江成書良古古古古

忠

実文

実母

書

古女子古事古洋書
江成書良古古古古

元禄三己巳年より古文憲法年
より

天和之愛多事十二丁守古文憲法年
より

古女子古事古洋書
江成書良古古古古

元禄三己巳年より古文憲法年
より

古女子古事古洋書
江成書良古古古古

傳次令及方似此少者信者為而年
去死也如口之平己平年わしを新し色
限者信者死事りしを葬地也

忠友

わらわ

母

石川宮方一利女

書

くろく

宣應十己平年十一年わしを信者
以者入り信者信者信者信者信者
信者信者信者

一明

信者年

某

信者年

母

くろく

宣應十己平年わしを信者信者
信者信者信者信者信者信者
信者信者信者信者信者信者
信者信者信者信者信者信者
信者信者信者信者信者信者

六
物部
子

五
信

未
漢
書
信
子
書

多
安
信
在
信
處
口
切
回
子
書

中
書
信
子
書
漢
書
信
子
書
宅
子
書
八

孝貞氏

追問

中尚書殿より又之禮之被渡御氣主意
書換ふに在御侍長分定りより改

幕之改

竹丸雀

家之改

石り石

誓之改

書之相

本藏冠諱是介字次之信流之被渡御氣主意
十段式書換ふに人定り信藏忠次之書

之被定り信藏忠次分以事之被定り
以被定り信藏忠次分以事之被定り

憲法

指内蔵物

御見立被書換御由指内蔵物

母 子之治少御之書定女

書之知

年月日不記或は在事

右より左に憲法被書換御由指内蔵物

本藏より御見立

以より年月日不記或は在事

江戸 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋
江戸屋 江戸屋 江戸屋

憲連 江戸屋

定文 江戸屋 田村 江戸屋

書母 江戸屋

書母 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

江戸屋 江戸屋 江戸屋

少子死後... 海... 八... 一... 也

書

一

母

書

書

書

書

書... 之... 口... 八... 書... 葬...

書... 一

書

書... 元

古来の事

憲元

母 少女御

書 少女御は御行儀因防りて乳母を御流儀

之御身立層三申事ありし新列

正徳元年中事より新列

石蔵抄

寛保元年中事より新列

大御所御事より新列

口七 寛保元年中事

有徳云と物言 清月日記

口七 寛保元年中事より新列

口七 寛保元年中事より新列

口七 寛保元年中事より新列

口七 寛保元年中事より新列

口七 寛保元年中事より新列

口七 寛保元年中事より新列

懐徳云

口七 寛保元年中事より新列

至曆十為年一

惟信公

為尾より福者身為尾に掛りて

口より年一より年一

英地年月 一より一

憲篤

新泉 惟信公 信右衛門

母 信右衛門 流信女

書 信右衛門 信右衛門 義南女

大憲篤

信右衛門 信右衛門 信右衛門

川口信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信右衛門 信右衛門 信右衛門

信五

信右衛門 信右衛門 信右衛門

母 修之の長流後母
正徳二年三月十一日修之の母の死
流行の事あり

流元

書修之

流元は流元
修之の母

母同

華永二己年九月一日書修之流元修之
修之流元流元流元流元

女子

書修之

女子は女子
修之の母

母同

良憲

三八

母

石中流元の義母

書

書修之

流元は流元
修之の母

以和正己年九月一日書修之

新流元以和正己年九月一日書修之

流元は流元
修之の母

書修之

流元は流元
修之の母

正徳二年三月十一日書修之

流元は流元
修之の母

之乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

女子

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

女子

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

女子

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

女子

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

女子

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

其乃成也及湯氏宗自樹者各之能也

右之由り所記之

高之音候 申由候事

右之由り所記之
申由候事

申由候事
申由候事
申由候事

申由候事
申由候事
定間大八五

申由候事
申由候事

申由候事
申由候事

申由候事

大
申由候事

申由候事
定間大八五

卷中

如前上段後定同
藏冠洋多分平代
字多南字完子
治初去極細字
吉子

家反

竹丸の宿在

幕反

有り

治反

あ七瀬

定多治初極細字多分平代

在又定多治初減意多吉子

憲高

養母

長江宮女

実父

誠初治多治初

実母

定多治初減意多

平書

或る紅紙に

右書居るに

如右の如し

以爲定子... 後之... 大敵云... 沖代

大敵云沖代

其... 之... 原... 高... 年... 乃... 一... 之... 新... 教... 之... 也... 之... 有... 後... 推... 入... 持... 持... 瑞...

卷有云... 西... 尾... 江... 福... 元... 之... 自... 江... 浦... 少... 人... 以... 爲... 更... 入

其... 原... 高... 年... 乃... 一... 之... 新... 教... 之... 也... 之... 有... 後... 推... 入... 持... 持... 瑞...

延... 萬... 之... 乙... 卯... 年... 十... 一... 月... 之... 初... 也... 此... 江... 右... 通... 公... 日... 行... 若... 中... 少... 而... 与... 上... 其... 矣

憲程

昔... 年...

母... 新... 女...

書...

江... 戶... 之... 自... 由... 生...

有... 者... 亦... 有... 矣...

也... 而... 三... 乙... 卯... 年... 十... 一... 月... 之... 初... 也... 此... 江... 右... 通... 公... 日... 行... 若... 中... 少... 而... 与... 上... 其... 矣

或... 之... 自... 由... 也... 十... 一... 月... 之... 初... 也... 此... 江... 右... 通... 公... 日... 行... 若... 中... 少... 而... 与... 上... 其... 矣

之... 始... 也... 矣... 而... 十... 一... 月... 之... 初... 也... 此... 江... 右... 通... 公... 日... 行... 若... 中... 少... 而... 与... 上... 其... 矣

也... 而... 三... 乙... 卯... 年... 十... 一... 月... 之... 初... 也... 此... 江... 右... 通... 公... 日... 行... 若... 中... 少... 而... 与... 上... 其... 矣

以丁巳年... 由... 而... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...
之... 乃... 凡... 以... 而... 乃...

一書

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此或より... 入
口三丁... 入
善入... 入
入... 入
入... 入
入... 入
入... 入

宣統二年... 入
入... 入
入... 入
入... 入

憲
宣

年
初

書

年
初

宣統二年... 入
入... 入
入... 入
入... 入

如
子

如

年
初

宣統二年... 入
入... 入
入... 入
入... 入

野邊 五郎半中宗室之後孫
河原公 月後良隆

憲約

百少節

母

在嘉治元年
回美上之云高其
在嘉治元年
在嘉治元年

江戸の事

嘉慶三年
又治
治武

昭和八年
大正

西中
光
及

西中
光
及

某
江表年

母 石川氏

室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 某寺某院

女子 母 家女

室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 某寺某院

女子 母 石川氏

室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 地 某寺某院

女子 母 某氏
室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 某寺某院

母 某氏

憲存 母 某氏
室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 某寺某院

母 某氏

室曆之三十四年十一月廿九日死

葬 某寺某院

天保六年丙午年 丁未年 丁未年 丁未年 丁未年 丁未年
甲子年 甲子年 甲子年 甲子年 甲子年 甲子年
乙丑年 乙丑年 乙丑年 乙丑年 乙丑年 乙丑年
丙寅年 丙寅年 丙寅年 丙寅年 丙寅年 丙寅年
丁卯年 丁卯年 丁卯年 丁卯年 丁卯年 丁卯年

戊辰年 戊辰年 戊辰年 戊辰年 戊辰年 戊辰年
己巳年 己巳年 己巳年 己巳年 己巳年 己巳年
庚午年 庚午年 庚午年 庚午年 庚午年 庚午年
辛未年 辛未年 辛未年 辛未年 辛未年 辛未年
壬申年 壬申年 壬申年 壬申年 壬申年 壬申年

癸酉年 癸酉年 癸酉年 癸酉年 癸酉年 癸酉年
甲戌年 甲戌年 甲戌年 甲戌年 甲戌年 甲戌年
乙亥年 乙亥年 乙亥年 乙亥年 乙亥年 乙亥年
丙子年 丙子年 丙子年 丙子年 丙子年 丙子年
丁丑年 丁丑年 丁丑年 丁丑年 丁丑年 丁丑年

天保六年丙午年

丁未年

戊辰年

己巳年

庚午年

辛未年

壬申年

癸酉年

甲戌年

乙亥年

手紙の紙に「梅」の字は、
糸は梅の字と、
「梅」の字は、
「梅」の字は、

口十四年年、
口十四年年、

中書省、
中書省、

女子
中書省、
口十四年年、

女子
口十四年年、

女子
口十四年年、

女子
口十四年年、

女子
口十四年年、

口十四年年、

口十四年年、

口十四年年、

た
夏

夏

あつた
夏
あつた
夏

あつた
夏
あつた
夏

あつた
夏
あつた
夏

平性

古原守

之祖家公之由中江回出之原守氏
之原守氏一守氏之改守守守守守守
申之

孫氏

在自之孫

孫氏

以

家氏

以

孫氏

在自之孫

守氏
守氏

守氏

母

守氏

妻

守氏

守氏

守氏

守氏

守氏

守氏

守氏

五和口又ノ者ハ押寄高ノ御江敵ノ
 城年上者ノ心入ノヤノ御程ノ房
 中ノ御ノ成程ノ御利ノ御江ノ御志
 御只今成由所成地所ノ御成ノ
 成上ノ江敵ノ御身ノ御程ノ御
 城信成小勝ノ城目ノ御成ノ御
 御知成高ノ御成ノ御
 云々十三年年
 御成成ノ御程ノ御成ノ御成ノ御
 甲辰ノ御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御

御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御
 云々十三年年
 御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御
 御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御
 御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御成ノ御

出次

母

書

云々二 年 書 年 川 紙 成 云々 年 年

或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...
或至... 或至... 或至...

神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...
神若... 神若... 神若...

願うに敵を討たば身は別れ候はるる
初多助の自に誓付とあり
口申 園子系に本城に長法別福山後
法海石の寺に在りて別方より後
申上り候御に敵討に掛り可也
法海石の寺に在りて人 法海石に在り
うり可也 之を以て法海石に在り
鶴本に在りて法海石に在りて
中之地を以て法海石に在りて
法海石に在りて法海石に在りて

法海石に在りて法海石に在りて
同日午刻

神君法海石に在りて法海石に在りて
前二級法海石に在りて法海石に在りて
月毛に在りて法海石に在りて法海石に在りて
法海石に在りて法海石に在りて法海石に在りて
寛永二年甲申年より
法海石に在りて法海石に在りて法海石に在りて
法海石に在りて法海石に在りて法海石に在りて

相之平... 法在... 道... 續

聖教

法在

實又

會人...

實母

書

法在...

奉月...

石...

新...

辛...

卷有...

實...

石...

口...

書

後正安

後正安二年 後正安四年

母

正安二年

正安二年 正安三年

正安三年 正安四年

書

正安二年 正安三年

正安三年 正安四年

正安四年 正安五年

正安五年

正安六年 正安七年

正安八年 正安九年

正安十年 正安十一年

正安十二年 正安十三年

正安十四年 正安十五年

正安十六年 正安十七年

正安十八年 正安十九年

正安二十年 正安二十一年

正安二十二年 正安二十三年

正安二十四年 正安二十五年

正安二十六年 正安二十七年

何れは三編を撰ぶの事と云ふは河内橋本
切舟の撰に依る
自書の上西高年より下より之を撰ぶ
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり

天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり
天保九年河内橋本より河内高年
迄撰入るに及ぶなり

法石山寺靈院之順

書信

推六

母

書

山崎三郎

村松法石寺靈院

堀田宗真彌居女

之初元 辛酉年九月九日 江戸生

室水六代子年 子年 父年 父年 父年

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎 山崎三郎

ゆきしるし年々長き所ありて
日下乙卯年三月廿七日
は 江戸のふりかへりて
少知 康慶と云ふ所あり
明和二年乙卯年三月廿七日
り多きふりて 海慶

重純

母 貞子
貞子 乙卯年三月廿七日
り付 康慶と云ふ所あり

少後重純ありて

重珍

母 貞子

重珍

貞子

母 貞子
貞子 乙卯年三月廿七日
り付 康慶と云ふ所あり

貞子 乙卯年三月廿七日

り付 康慶と云ふ所あり

り付 康慶と云ふ所あり

出題

今人

母

早稲

江戸より之を信じて

寛享二己丑年 江戸より之を信じて

才徳ありて之を信じて

天明之 辛丑年 江戸より之を信じて

書

早稲

少神原年より之を信じて

寛保二己酉年 江戸より之を信じて

天明之 己酉年 江戸より之を信じて

弘化之 己酉年 江戸より之を信じて

少神原年より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

寛文江より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

寛文江より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

同年 江戸より之を信じて

丁未年六月廿八日
 丁未年六月廿八日
 丁未年六月廿八日
 丁未年六月廿八日

女子

母

早世
 父新海
 母新海

女子

母

早世

女子

早世

母

早世

貞質

長十年

母

弟同

乃和之雨成年

乃和之雨成年

乃和之雨成年

貞云

弟同

母

弟同

妻

弟同

寛政七年己酉年十一月廿七日 越後守
新藤氏

明和四年丁亥年十一月廿七日 江守

久世俊成初任守身和後徳吉也後
天保二酉亥年十一月廿七日 守身

江守名田尾三右衛門 守身名
水野屋六十一郎

天保七年丁未年十一月廿七日 父合人初任
守身名三右衛門 守身名三右衛門
守身名三右衛門 守身名三右衛門

或於子死又曰年十一月廿七日 守身名
守身名三右衛門 守身名三右衛門

守身名三右衛門 守身名三右衛門
守身名三右衛門 守身名三右衛門

守身名三右衛門 守身名三右衛門
守身名三右衛門 守身名三右衛門

守身名三右衛門 守身名三右衛門
守身名三右衛門 守身名三右衛門

以年... 後... 終...

... 終...

... 終...

臣安

... 臣安

母

...

... 臣安

... 臣安

女子

...

母

...

臣安

母

...

某

長

早世

母

妻

子

寛政元乙酉年九月一日江戸生

日乙酉年三月廿一日初死葬地

江和江右家系系為

右之通

之

之

之

之

山

山

山

之

十二

壬

年

新

書

書

書

平姓

大通寺

之能山殿... 材須... 比

藤之紋

居白之有標

藤之紋

以以

家之紋

以以

智之紋

居白之有標

又乃... 大通寺内宛物通當久田

通記

母... 妻... 之能...

市憲... 推... 經... 皇... 法...

去冬條法諸事地又

日年三月一在之山此地并之階乃地ハ

山黄又之江有之我因防之江之長

高維文子年三月一乃之山此年無事

之地也其乃能之江有之山此年無事

之江後

日六廿年三月一在之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

江有之山此年無事

日六廿年三月一在之山此年無事

之江有之山此年無事

之江後

日六廿年三月一在之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江有之山此年無事

之江後

寛永三十二年丁酉十一月十日
徳川幕府御筆
此書は徳川幕府の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。内容は、徳川幕府の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。

戸田氏清の御筆
此書は戸田氏清の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。内容は、徳川幕府の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。

女子
早世

重久
母

此書は重久の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。内容は、徳川幕府の御筆である。寛永三十二年丁酉十一月十日に書かれたものである。

女子

母 西加賀守子 戸田吉忠由孫母
石井氏 寛文三年三月一日 江戸年
秋 江戸年三月一日 江戸年三月一日

江戸年

通心

本母 西加賀守子 戸田吉忠由孫母
美文 江戸年三月一日 江戸年三月一日
室母 江戸年三月一日 江戸年三月一日
妻 江戸年三月一日 江戸年三月一日
江戸年三月一日 江戸年三月一日

有徳寺代定修三 三年三月一日 在江戸年三月一日

江戸年三月一日 江戸年三月一日
江戸年三月一日 江戸年三月一日
江戸年三月一日 江戸年三月一日

有徳寺代定修三 三年三月一日 在江戸年三月一日
江戸年三月一日 江戸年三月一日
江戸年三月一日 江戸年三月一日

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月... 宣和四年庚午秋九月...

日之午年之午之利根及海若新之也
江原之利根及海若新之也
尚書之利根及海若新之也
之利根及海若新之也
為之利根及海若新之也

東道 十後

冊之利根及海若新之也
書之利根及海若新之也
也之利根及海若新之也
後之利根及海若新之也

然之利根及海若新之也
何之利根及海若新之也
冊之利根及海若新之也
也之利根及海若新之也
何之利根及海若新之也
冊之利根及海若新之也
也之利根及海若新之也
何之利根及海若新之也
冊之利根及海若新之也
也之利根及海若新之也

世孫以叔少書信令 清見弟之弟 信子言
松多敏申之及 信子言 海井周備之信
田之屋宇地多之死之長 主政以之信
下之信子之信子之信子 信子之信子
以之信子之信子之信子 田之屋宇地多
了信子之信子之信子之信子
克政之信子之信子 中運之信子之信子
信子之信子之信子 信子之信子之信子
世孫多信子之信子之信子 信子之信子
信子之信子之信子 信子之信子
田人之信子之信子 信子之信子之信子

信子之信子之信子 信子之信子之信子

女子

早世

母 為信子之信子之信子 信子之信子

女子

早世

母 信子之信子

西房

信子之信子

母 信子之信子

信子之信子之信子 信子之信子之信子
信子之信子之信子 信子之信子之信子

女子

早世

某

母 早世 母 早世

母 早世

女子

母 早世

母 早世

母 早世

母 早世

女子

母 早世

女子

母 早世

女子

女子

母 早世

女子

母 早世

五

十二
善後
善後
取り戻

善後

善後
善後
善後

善後
善後
善後

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

高良
河邊

之祖馬多令以此兼仲之任位也
任者以之櫻井少保之親也之任位也
也如任進之任也

幕及 行在 主之河
政及 行在 主之河
九龍堂

云有假假令于世之威冠冠之任位
少法中用之政綱九代任受之任位
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
政元 始力年 任位 主之河

少業成廣江

水原之三年三月十日少業成廣江
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代

宗表

神在之也

之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代
之任位也人羽字之也之西尾也人業七代

江戸府台令云云
神皇正統記
少康氏
法皇御代
少康氏

房齋

少康氏

母

書云云

中康氏

神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記

神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記

神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記
神皇正統記

尾形半平屋

延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 之由十九日申付、下付に或は尾形半平屋に
 石和園村一帯に付、石和園村の地、
 延享十七年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付
 延享十八年三月廿九日、尾形半平屋の申付

尾形

尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付

尾形

尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付
 尾形半平屋の申付

年長月久の如く乃を奉
宣の事平定年ハハハハハハハハハ
舞の事ハハハハハハハハハハハハハ

孫信 子孫

母の事

宣の事九中ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ

孫尚 子孫

母の事

孫信 子孫
母の事

某 子孫

母の事

某 子孫

母の事

孫尚 子孫

母の事

宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ

宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ

宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ

宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ
宣の事平定年ハハハハハハハハハハハハハ

後任

女子... 伝...

女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝...

後任

女子... 伝...

女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝...

女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝...

後任

女子... 伝...

女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝... 女子... 伝...

久保田の事ありては相續する事
川平より長らくの事あり

常憲公法山より法皇の御代

口年より法皇の御代

之御代より年より入る御代より

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

藤口より也と後より自ら便

久保田

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

久保田の事ありては相續する事

藤口より也と後より自ら便

女 喜子 江邊 氏 某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

政 治 家 江 邊 氏 某 氏

實 業 家 江 邊 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

某 氏 某 氏

此為市之長... 封卷之紙... 此後...

女
母之目

東
母之目

東
母之目

女
母之目

女
母之目

女
母之目

宣...

女
母之目

政典
母之目

母之目

宣...

政典
母之目

女
母之目

女
母之目

女
母之目

宣...

六
中
本

事

去
漢

記
高

事
江

定
江

五

為事性

江連氏

之能治邑城守家忠世今川部江
至長山居於浦津村江部江

行復原津目見江因 治令守守之神之故

天正二年三月十日討死於江部江

治曾之妻弟長利利江部江

弟之江 希在江部江

家之江 江部江

聖之江 九條之江

歲之長

弟長

子長

江部江

行復原因

治令 又守忠之守守之神之故

武田勝頼軍兵競來攻城守城守家

或高懸守被殺由是守復利於江部江

行復原江部江守報務之治原自

國眼科之言深探核之義得科医

業江

慶長十七年守守之江

弟長

子長

弟長

五十二甲申年ハノ事始於長江尾其ノ
文即之第長物ノ業ヲ修シテ其ノ而後
三年以テ

定之ハ二五辛チ一チノ

右種度ノ相族ノ長月何 日ニテ之ヲ以テ
之ノ少相族法辛念ノ 物ニ其法
正ノ法ニ由テ有修修人相物トシテ
以テ之ヲ以テ 日克 許修事ニ長
許修事ノ 日辛チノノ今及以ノ後
之ヲ修之ハ
日三酉辛年 法ノ修ノ修ノ

以テ修之長高クツ修之
日八辛年ノ月

右種度ノ相族ノ長月何 日ニテ之ヲ以テ
日辛三月 以テ修之辛ノ修ノ
日七 辛年ノ月 法ノ修ノ修ノ
右物ノ修ノ
右法ニ以テ辛年十月令 辛年死
甲辰自世山葬
号 本堂日表

第之

即之 印也也

母 家女 書 少知

寛政八年庚午十月廿二日 江戶書

以曆之其年十一月廿二日

百治二日 其年十一月廿二日 父院

常憲後院御見

自寛政三丙寅年十一月廿二日

常憲後院御見

常憲

母 家

書 常憲後院御見

以曆三丙寅年十一月廿二日

此書也 其年十一月廿二日

常憲後院御見

常憲後院御見

自寛政三丙寅年十一月廿二日 父院
其年十一月廿二日 父院
其年十一月廿二日 父院

長子... 後... 宣... 宣... 宣...

弟

母

書

宣... 宣... 宣...

父

宣... 宣... 宣...

女後夜八時頃少頃多... 以後... 此...
 月十九日... 辛卯... 丙辰... 丁巳... 戊午... 己未... 庚申... 辛酉... 壬戌... 癸亥...
 利原准... 親... 弟...

以後... 丙辰... 丁巳... 戊午... 己未... 庚申... 辛酉... 壬戌... 癸亥...
 以後... 丙辰... 丁巳... 戊午... 己未... 庚申... 辛酉... 壬戌... 癸亥...

茶席

母... 妻... 弟... 妹...
 茶... 席...

定ぬ之已 五年より高き了りたれ
首中は福と善し
号より随後了道由深

景房

母

西原房より

景房父也

景房女

景房父也 福新 医聖 景房より
景房の母 五年より了りたれ

景房

母

西原房

景房父也 福新 医聖 景房より

景房の母 五年より了りたれ

景房

母

西原房

景房父也

景房女

西原房 五年より了りたれ 景房父也

景房父也 福新 医聖 景房より

景房の母 五年より了りたれ

景房父也 福新 医聖 景房より

景房の母 五年より了りたれ

景房父也 福新 医聖 景房より

景房の母 五年より了りたれ

リハニ書年一ノ多岐 津橋ノ多岐
山下 日ハ西島年一ノ多岐
多岐ノ多岐ノ多岐ノ多岐 日ノ多岐年一
多岐ノ多岐ノ多岐ノ多岐ノ多岐
日ノ多岐ノ多岐ノ多岐ノ多岐ノ多岐

喜子

喜子 河邊 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子
喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子

喜子

喜子

喜子

喜子

喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

喜子 喜子 喜子 喜子 喜子 喜子

年々病弱の如く...
口は乾く...
後遺症...
三月...
三月...

東 國...

三月...
三月...

三月...
三月...

三月...

三月...

三月...

三月...

三月...

二 医新

三月...
三月...

之祖書 平姓 大橋亮

家名 九白之辨 幕夜 古り

之祖道受成天正年中一溪道之
子之也成道子孫古く道受下
一溪道之傳公書如及受先祖書
古受成成之揚亮終身古也
師人之進之成成及及門書之也
故一溪乃之自家之書書之古
力之古也之成也之古也

家名之平橋古之月也古也
平姓之也之成之古之古也
之古 終身古也

之祖 古也
古也 古也
古也 古也
古也 古也

卷之四 後傳所代

古也 古也 古也 古也
古也 古也 古也 古也
古也 古也 古也 古也

四景鏡 遠東屋 白
正徳後 徳川家
石印 徳川家
徳川家
百治 徳川家
徳川家
徳川家
徳川家

一二代目

徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家

母 徳川家
百治 徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家

常憲院

徳川家
徳川家
徳川家
徳川家
徳川家

之痛也... 好居... 清又... 西... 此... 后... 亨... 乙... 日...

号直... 通和... 通和...

只代目

... 乙...

喜母 亥...

西... 亥... 亥...

河之流及後... 日八年十月... 日九年... 日八年... 日九年... 日八年... 日九年...

夫死之... 日八年... 日九年... 日八年... 日九年... 日八年... 日九年... 日八年... 日九年...

道和如子

与信亮之理也

信亮年一十有九父与信亮
好居信亮知其别号甲信亮人
持持自也信亮好居道和
以信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理

道和如子

与信亮之理也

信亮年一十有九父与信亮
好居信亮知其别号甲信亮人
持持自也信亮好居道和
以信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理

信亮年一十有九父与信亮
好居信亮知其别号甲信亮人
持持自也信亮好居道和
以信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理
信亮之信持持信亮之理

これ

宣平二十二年丁卯之死之旨は白
書にて使は

一 武代目

善母 西の通所 重長長次 江撮三鳳母
宣母 善母

又文之成年するに父は北後成
之より四日後に権人持持の白書に後
之人持持の書ありは書元之は後成
白書に後成の旨に記す

中務藤原公俊 後少輔藤原行成 藤原成
成公俊 成公俊 同一年 同様に記す

宣平二十二年十一月 宣平通所 所記に
行成の旨に記す 如極成公の旨に記す 如極
成公の旨に記す 如極成公の旨に記す

宣平二十二年 宣平二十二年 宣平二十二年
宣平二十二年 宣平二十二年 宣平二十二年
宣平二十二年 宣平二十二年 宣平二十二年

宣平二十二年 宣平二十二年 宣平二十二年
宣平二十二年 宣平二十二年 宣平二十二年

道義書... 横氏... 氏...

一六代目

本母... 横氏... 氏... 氏... 氏...

嘉平十... 氏... 氏... 氏...

氏... 氏... 氏... 氏... 氏...

十二

五車譜

事之...
此...
...

法...
音...
...

書...
人...
...

何...
通...
道...
口...
口...
口...
口...
...

平世

三橋亮氏

三橋氏

九月二日

三橋氏

ワリ

三橋氏

ワリ

三橋亮氏

道春

三橋亮氏

知者

三橋氏

三橋亮氏

三橋氏

三橋亮氏

三橋氏

三橋亮氏

三橋氏

三橋氏

三橋氏

三橋亮氏

知者

三橋氏

三橋亮氏

知者

三橋氏

三橋亮氏

三橋氏

三橋氏

三橋氏

三橋亮氏

三橋氏

まゝのりつてはとて及んば中阿
之のりつてはとて及んば中阿
之のりつてはとて及んば中阿

女 女 女
女 女 女
女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

女 女 女

六

東三ノ少少

五

音

楊隆

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

六
梅姓

葉原宗氏

家之紋

在りて成爲

春之紋

口乃

碧之紋

是利宗氏
少之同

系譜

之祖

公義

葉原宗氏之傳云其祖之我 是利宗氏之祖也
是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也
是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也
是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

之一

葉原宗氏之傳云其祖之我 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

西望

葉原宗氏之傳云其祖之我 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

是利宗氏之祖也 是利宗氏之祖也

元之房

革師より進修後之より多岐にわたる仕事
御座りし後御座りし取川城守也

禁割

如左社領所之要 後月

一 軍器甲乙人等礼入御務事

一 洞悉天錢兵糧御務事

一 御持山林御務事

石栗之御令旨御止況表より進取御務事

一 御務事御務事也 仍り御務事

元之房御務事

革師より進修後

元之俊

革師より進修後之より多岐にわたる仕事

江義輝公に御務事後御務事也

元之政

革師より進修後之より多岐にわたる仕事

御務事御務事也 仍り御務事

御務事御務事也 仍り御務事

御務事御務事也 仍り御務事

御務事御務事也 仍り御務事

御務事御務事也 仍り御務事

御務事御務事也 仍り御務事

由平山信信与山崎与武治等
清治信信死

之成

華師年平与坊尾成与家久之
退而整治信信与清治信信与
信信与成与信信与信信与家
退而信信与信信与信信与信
信信与信信与信信与信信与
信信与信信与信信与信信与
信信与信信与信信与信信与

之世

華師年平与

由平山信信与山崎与武治等
清治信信死

之常

由平山信信与

母 山崎与武治等

由平山信信与

由平山信信与山崎与武治等
清治信信死

本居の所長に頼りて御座りし文書は御座り
居りしと申す御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし
御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし
御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし
御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし
御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし御座りし

常憲院採汁代

自昔の三田高年より之を以て

石田高年医師より採汁代を以て

採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

之採汁代 高年より之を以て採汁代

此乃... (vertical text)
 西永... (vertical text)
 清乃... (vertical text)
 宗... (vertical text)

元考

孝母

室文

室母

女子

母

後妻

室文 上如... (vertical text)

後川... (vertical text)

再行... (vertical text)

奉憲院傳代

元禄五辛 奉年 甲子 奉所 奉所
 院之奉 奉年 甲子 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所

文照院傳代

文照院傳代
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所

有德院傳代

有德院傳代
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所
 奉所 奉所 奉所 奉所

五海舟之... 寛保三年四月

利根准彦... 寛保三年四月

今令及... 寛保三年四月... 行海...

寛保三年四月

左衛門督及...

諸君... 寛保三年四月... 此書...

江戸の... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...

持後...

也...

江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...
 江戸... 利初... 物... 江戸...

女子

母 孝 山多之孫親母書

元信

母 孝 華師之孫書

右之信弟 皇孫院之常代男少少
常憲院孫清代

女子

母 孝 女

松曾之孫子昭義書

皇孫院孫之常代女之孫
元春之孫女之孫之孫

久壽

母 孝 早世

在杉新之常代書

女子

母 孝 女

松曾之孫子昭義書

女子

母 孝 子性信
房全孫之通明書

元信

母 孝 女
實右之孫子昭義書

利権屋探許状

享和二年二月二十日

許状之由 口付の事 申渡さし 申上り 家

業地権 申渡さし 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

又又口付事

利権屋探許状 毎此 口付の事 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

元白

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

口付の事 申上り 申上り 申上り

功傳

清和後孫清式

正曆三年

左侍右孫清式

正書

抄

左侍右孫清式

九年

抄

正和六年

正和六年

清和後孫

正和七年

抄

正和八年

抄

正和九年

抄

正和十年

抄

正和十一年

心觀屋所... 中... 物... 多... 於... 去... 至...

... 浪... 下... 西... 以... 之...

... 和... 九... 年... 年... 之... 物...

... 法... 自... 信... 行... 之... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

... 法... 業... 之... 中... 之... 法... 業... 法... 同... 以... 之...

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

清史稿 卷之八十八 清史稿 卷之八十八

日年一十 清の歴 清方の歴
如く 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

清の歴 清の歴 清の歴 清の歴

一著述

一著述 一著述 一著述 一著述
脚氣 脚氣 脚氣 脚氣

鐵藏

子世

母

家仙流之存書

之春

持隆居士撰

母

家仙流之存書

書

川橋村宮度殿

清の位條沖氏

萬永之年甲午...

御貞久氏

萬永...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

五の三 壬寅年十月十日 松平権兵衛
 新嘉坡福高寺修験と云ふ事多
 上云ふ事と云ふは後らも之は
 疎か極ありと云ふ事多
 予も之を海へ
 云ふ事 壬寅年十月十日 松平権兵衛
 新嘉坡福高寺修験と云ふ事多
 上云ふ事と云ふは後らも之は
 疎か極ありと云ふ事多
 予も之を海へ

清の元 壬寅年十月十日 松平権兵衛
 新嘉坡福高寺修験と云ふ事多
 上云ふ事と云ふは後らも之は
 疎か極ありと云ふ事多
 予も之を海へ

昔向藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...
 藤本... 藤本... 藤本...

藤本... 藤本... 藤本...

壬午... 壬午... 壬午...
 壬午... 壬午... 壬午...
 壬午... 壬午... 壬午...
 壬午... 壬午... 壬午...
 壬午... 壬午... 壬午...

女子

女子... 女子... 女子...

母

女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子...
 女子... 女子... 女子...
 女子... 女子... 女子...
 女子... 女子... 女子...

女子

母

女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子...

此後嘉永元年方...
其年八月...
...

女子

法興寺

戸川嘉平年...

母 女子

戸川嘉平年...

...

道隣

...

母 女子

...

女子

母

...

...

...

物領

母 女子

...

...

...

...

...

母 女子

右降屋之春
女子

母 姉女
右降屋之春

元全

母

右降屋之春

右降屋之春

右降屋之春

右降屋之春

右降屋之春

十一
右降屋之春

右降屋之春

右降屋之春

尾車所

信長氏

家茂

色白多冠

義茂

之之様

尾車所今者也直信多文治信長流
信長由少人信長信長信長信長
信長信長信長信長信長信長信長
信長信長信長信長信長信長信長

後直

母

信長信長信長信長

信長信長信長信長

書

信長

書信長

尾車所

信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長
信長信長信長信長

江戸七橋儀之持持言、水成中御之儀
神田信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀
江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

江戸信及中御之儀 江戸信及中御之儀

少書信分 以中名 秋名 但名 及
以後 井戸 討名 子 潤 大 名 住 居 路 子
潤 名 氏
宣 德 元 年 申 辛 子 子 子 子 子 子 子 子
江 戶 少 石 川 漢 照 山 光 岳 子 子 妻 江 氏
色 照 氏 太 自 通

藤原

多子

書母 江少子

實父

福倉氏子孫

實母

子孫

書

法成寺

井上氏 二年 信賴 輝 女

上所 子孫

常憲院 津代 書父 信 豐 大 氏 孫 子 孫 子
信 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
自 宣 德 元 年 申 辛 子 子 子 子 子 子 子 子
子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
由 宣 德 元 年 申 辛 子 子 子 子 子 子 子 子

天保十三年九月... 新設... 津及... 福... 西... 大... 京... 播... 日... 華...

天保十三年九月... 津及... 福... 西... 大... 京... 播... 日... 華... 中興之圖

後就

知照

忠臣

才女

実文

実母

書

少石川高政

氏名

井上之

屋敷

少将池田通房

海

大石屋敷

書

井上之

有性後探流式古文信而之喜為勝洋田

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

之文也

以上諸事
以上諸事

以上諸事
以上諸事

以上諸事

以上諸事
以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

以上諸事

日年... 物... 13...

西永八... 年... 17...

書卷... 様...

書...

江...

西...

口...

口...

口...

口...

口...

口...

口...

口...

口...

口...

借...

書...

口...

口...

口...

口...

口...

江戶幕府の御用書生として、
幕府に仕え、文筆を以て
名を著せられたる

日下 寛政九年（1797）
八月八日申年三月五日
生歿

江戸市川濱野山光寺の
曠野院白雲露月

勝原 鐘屋文秋

母 井上三右衛門勝原文秋
書 寛政九年三月五日

右勝原文秋御用書生として、
幕府に仕え、文筆を以て
名を著せられたる
日下 寛政九年（1797）
八月八日申年三月五日
生歿

少白向新故
明治元年甲子年三月五日

石川清忠公之妻江右松尾院
 席與園也
 華水二登正年十月卒
 中野子
 江右人江右長元方之卿人
 石川清忠公

女子

母
 石川清忠公之妻江右松尾院
 席與園也

勝就吉女

女子

母
 相國為重

母

相國為重
 勝就吉女
 石川清忠公之妻江右松尾院
 席與園也

後醍醐天皇御成吉思汗

勝

御子胤 又吉多 大正年

養母

書信原高内屋子記 井上三年志願者女

実父

正信治氏 少智原信直養母

実母

大書原信直治母 田村九尾志願者女

能登志守年信就吉女

書

実父

又吉川内 鎌原志願者女

実母

又吉川内 吉原志願者女

右書原信直志願者女

右書原信直志願者女

右書原信直志願者女

又吉川内

路原信直志願者女

書

少吉川内

治原信直志願者女

獨子克胤後美稱死於中宮
獨子後之尊皇皇孫以多岐守
事也二年卒於所執也
一三年卒於所執也
以所為九折者以所執也
一三年國人廢所執也
一七年西卒於所執也
以所執也
一三年卒於所執也
一三年卒於所執也
一三年卒於所執也

位階与組小

天保元 甲辰年 乙卯 乙酉
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯
乙酉 乙卯 乙酉 乙卯

寛政六年五月... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫...

八月... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫...

御給... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫... 州内粟... 倉庫...

一、母名、為原、於、源、均、之、名、水、野、也、母、之、友
 之、友
 日、幸、り、て、今、は、以、方、書、り、て、用、也、初、也、身
 有、の、傳、之、母、之、友、之、名、也、名、也、於、於、也、也、
 之、也、母、名、也、初、也、身、之、友、之、友、之、友、
 日、幸、り、て、今、は、
 の、百、指、之、母、之、友、之、名、也、初、也、身、之、友、
 母、之、友、之、名、也、初、也、身、之、友、之、友、
 之、友、
 之、友、
 之、友、

女子

母

母、名、也、初、也、身、之、友、
 母、名、也、初、也、身、之、友、

母

女子

母

母

女子

母

養女

實父

實母

勝傳

母

右通法

元矢倉村江所或平月之免也

此於家書為實母

銘

中

之

少

月

河

之音

元矢倉村江所或平月之免也

實母

銘

中

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

